平成 26 年度プログラム

講義回	実施月日	タイトル	担当講師	開催状況
第１回	平成 26 年 ７月 25 日	環境分野に関する社会的背景とコンサルタント業界の歩み	環境コンサルタントは、比較的新しい業種である。環境基本法が制定されたのが平成５年、その後も社会的ニーズの高まりを受けて、次々に新たな法律が整備された。 同時に、環境コンサルタントの需要は年々高まりをみせ、開発側と市民との橋渡しとなる役割が期待されるようになった。 講義では、国内における環境に対する社会的背景のもと、コンサルタント業界がどのように推移して現在に至るのかを解説する。	済
第２回	平成 26 年 ８月 29 日	自然環境系コンサルタント業務の実際	環境アセスメント手続きや企業の CSR 活動への補助、鳥獣害対策など、当社の業務内容を例に挙げて、環境コンサルタントの実務内容を解説するとともに、技術者の日常などについても触れる。	済
第３回	平成 26 年 10 月 17 日	人と自然の軋轢･･･鳥獣被害の実態と対策	人間と野生動物の軋轢が表面化している鳥獣害。その軋轢は年々高まりを見せ、特に郊外の地域では大きな問題となっている。 この鳥獣害についての現状を最新の研究を交えて紹介するとともに、その対策についても解説する。	済
第４回	平成 26 年 12 月 19 日	生物多様性戦略とは･･･策定までの流れと留意点	平成 20 年、生物多様性基本法が制定されたことを機に、多くの自治体が生物多様性地域戦略の策定を進めている。地域戦略の策定は、多くの主体との合意形成が必要であり、その運用についても課題が浮き彫りになりつつある。 講義では、実際に多様性地域戦略策定に携わった講師によって、地域戦略策定の流れや留意すべき点を解説する。	
第５回	平成 27 年 ２月 13 日	コンサルタント業界の抱える課題と将来への展望	環境コンサルタント業界のニーズは年々高まりを見せ、その活躍の幅も広がりつつある。一方で、成熟産業と言われる業界特有の問題も生じている。 講義では、現在コンサルタント業界が持つ課題への対策を解説するとともに、将来に向けた展望を示して締めくくる。	